

<祈りのすすめ>

「わたしは真理のためについて証しするために生まれ、そのためにこの世に来た。真理に属する人は皆、わたしの声を聞く」  
(ヨハネによる福音書 18 章 37 節)

ピラトはイエスに「お前がユダヤ人の王なのか」と問いました。イエスを死刑にするにはローマ帝国に対する反逆者であるかどうかを確かめなくてはなりません。そのためピラトはイエスの自意識を問うのです。それに対しイエスは逆に質問してピラトに二つのことを自覚させようとしています。一つはピラトがイエスに干渉する必要はないということ、もう一つはピラトがユダヤ人に無理やり裁判官の地位に就かせられたということです。しかしピラトは悟らず「いったい何をしたのか」とイエスから自白を引き出そうとしています。自白の内容で死刑が妥当するか判断するためです。イエスは「実際、わたしの国はこの世には属していない」と答えて、この世とは異なる神の支配領域があることを示されます。そこでピラトが「やはり、王なのか」と言っても、イエスにはそれは「あなたが言っていること」にすぎないのです。神の支配に属するイエスは「真理を証しするために生まれ、そのために世に来た」のです。神の真理はイエスによってこの世に告知されます。この真理に属し、神の支配に服する者はイエスの声を聞くのです。イエスご自身が真理だからです。地上の王に服するピラトには、神に属するイエスの言葉は理解できません。だから「真理とは何か」と言い捨て、ユダヤ人たちに「わたしはあの男に何の罪も見いだせない」

という他ありませんでした。

靖国神社を「国のために死んだ人々を慰霊する施設」にすぎないと考える人々には、なぜキリスト者が靖国神社への政府要人の参拝に反対するのか理解できません。また政府要人が靖国神社に参拝する度に韓国や中国が抗議することも理解できません。逆にキリスト者には、靖国神社がかつて国家神道の中核機関として侵略戦争の精神的支柱となった祭殿であり、天皇と国のために死ぬことを強要された忌まわしい、平和に逆行する体質を保持する宗教施設だということがどうして理解されないのか分からないのです。

日本という地に属する国家と聖霊によって神に属する教会の論理の違いは、ピラトとイエスのやり取りのように、神の真理に属するか否か、真理を知るか否かの違いに深く関わっています。ピラトが最終的に自己保身のために罪なき神の子を死に引き渡したように、日本という国家も身勝手な都合で信教の自由を侵し、暴力を正当化し、天皇の宗教的権威を利用して教会を迫害することが起きうるのです。そうした過ちを再び繰り返させないために、私たちは常に真理である聖書の御言に立ち続けなければなりません。歴史の審判者が再び来られるキリストのみであることを忘れて、地に属するものを恐れてはならないのです。

<祈り> 主よ、真の神を知らない日本の人々がサタンの誘惑に負けて、罪から生じる悪を見抜けず、集団主義の圧力で少数者を抑圧し、滅亡の道を歩むことがないように導いてください。日本の教会が愛をもって真理を語り、真の平和を築くように、あなた霊を豊かに注いでください。

糸 広国(くめひろくに; 大会靖国神社問題特別委員会委員、函館相生教会牧師)

## 新シリーズ『いま なぜ 大嘗祭か』を読みなおす（23）

（井上豊、いのうえゆたか；大会靖国神社問題特別委員、広島長束教会牧師）

**Q26** イギリスの「女王」と同じように「天皇」のことを考えることはできませんか？

**A** イギリスと日本では歴史が違い、大多数の国民の意識が違います。イギリスではかつて、「王権神授説」をとったときにも、王の上に天の真の神がいますことが前提となっていました。また「王権神授説」を否定し、王をその王座から引き下ろし、追放・処刑した革命の歴史さえあります。

しかし、わたしたちの国においては「天皇」という言葉自体が、王以上の神格性を持った存在であることをあらわす名称です。しかも、大多数の国民が天皇を神格化してありがたがる傾向を強く持っています。また、天皇即位をめぐる儀式行事の多くは、人間を神々との交わりによって神格化するというその本質とする儀式ですし、さらには、そのことに基づいて天皇があらゆる面において、日本の支配者であることを繰り返し示す行事が昔ながらに行われるのです。これらをあわせ考えると、天皇神格化の危険性はいままなお決してなくなっているのではないのです。

わたしたちはこの一年ほどの間に、「昭和」の天皇の重体、死去、葬儀の中でそのことをはっきりと見てきたのではないのでしょうか。このようなわが国の現実を考えた時、わたしたち日本のキリスト者は、イギリスの女王と同じように「天皇」を考えることはできません。

**新 Q26-1** 日本の皇室がイギリス王室のようになることを、多くの人々が望んでいるように思いますが。

**A** 皇室がイギリス王室のようになるというのは、天皇が神格化されることなしに天皇制が維持され、同時に民主主義が機能している状態を指すものと思います。国内外を問わず、このことを望んでいる人は少なくありません。

また、皇族の中にも、皇室がこれから生き残ってゆくためにはこの方法しかないと考えている人もいるのではないかと推察します。

**新 Q26-2** その動きを妨げているものは何ですか。

**A** 天皇制の特質から来るものです。

天皇は神道の信仰においては依然として神です。それは1946年に昭和天皇が人間宣言したからといっても変わりありません。明仁天皇も現天皇も、口に出して言うことはないものの、宮中で自らを神として儀式を行っています。大嘗祭もその一つです。「天皇」という呼称そのものが大きな問題ですから、韓国ではこの言葉を使わず「日王」と言うことが多いです。

1970年に割腹自殺を遂げた三島由紀夫は小説「英霊の聲」で、特攻隊員らの霊に「などですめろぎは人間(ひと)となりたまひし」と語り、

昭和天皇の人間宣言を批判し、天皇があくまで神であり続けることを求めました。

このような天皇主義者も一定数存在します。その人たちにとって、天皇が神格をはぎとられてイギリス王室のようになり、国民に親しまれるだけの存在になることは耐えがたいはずですが。

一方、天皇の権威を利用して自分の権力を行使しようという人たちがいて、神権天皇制への道を備えようとしています。もっとも象徴天皇制を維持しながら巧妙に天皇を利用しようとする人もいるでしょう。かりに皇室がイギリス王室と同じようになったとしても、皇室のありかたは不断に検証されなければなりません。

**新 Q26-3** 皇室はこのまま続くのでしょうか。

**A** 眞子さんの結婚問題で「秋篠宮家は教育がなっていない」、「国民の税金で暮らしているくせに」などのバッシングが続いていますが、私は皇族の結婚の自由さえ奪ってしまおうとする動きが今後、天皇にも向かい、天皇制が大きく揺らぐ可能性もあると考えています。

皇族をその家柄のゆえに崇拝するのでも、また蔑視するのでもなく、唯一の神の下、自分たちと同じ人間だとみなすところから出発したいと思っています。

## 日本復帰 50 年・沖縄の記念行事

川越弘（かわごしひろし；大会靖国神社問題特別委員、沖縄伝道所牧師）

2019 年 10 月 29 日、文化庁は 2022 年に「日本復帰 50 年」を迎える沖縄で、「第 37 回国民文化祭」を開催することを内定して、沖縄の玉城デニー知事に内定書を手渡ししました。

「国民文化祭」とは、アマチュアを中心に、歌や演奏会、演劇、民俗芸能、囲碁、将棋、民謡・太鼓・空手・ダンス・オペラ・ミュージカル上演、美術作品展示、茶会、考古学講演会などの様々な文化活動を発表して交流するものです。その時、天皇徳仁が沖縄に来て「おことば」を語るようになっていようようです。

来年 2021 年、宮崎県と和歌山県で国民文化祭が 2 回も開催されると聞いております。宮崎国民文化祭は、今年 20 年の開催予定が新型コロナウイルス感染拡大のため来年に延期となり、21 年予定の和歌山国民文化祭はそのまま延期せず、宮崎と同年開催となったようです。この無理な同時開催は、2022 年沖縄国民文化祭を何がなんでも実施するためと考えられます。

沖縄の「日本復帰」50 年までに、日本政府はこれまで推し進めてきた琉球諸島全域への自衛隊配備を完成する予定のようです。与那国・宮古島・石垣島・奄美大島に部隊を配備し、辺野古・高江・伊江島に一大総合基地を確立して、中国や朝鮮共和国を仮想敵国として、米軍と連携して戦争の出来る国を構築するものです。歴史をふり返れば、75 年前、沖縄住民に国体(天皇制)護持の沖縄戦(捨て石決戦)を強いたときも、皇軍(第 32 軍)を奄美大島、徳之島、沖縄島、宮古島、

石垣島、西表島、大東島に配備しました。日本国家は、かつて今も、沖縄の諸島と人々を戦争の最前線に置くことに必死なのでありましょう。

さらに安倍前政権は、焼失した首里城の復興を日本政府の手で行うと公言しました。玉城知事は「本土復帰 50 周年」までに、首里城の再建計画を策定すると発表しております。この焼失した首里城は、1985 年 12 月、西銘知事の時代に全額国費で復元されたものです。当時の政府自民党の首里城復元に積極的であった最大の理由は、返還された「沖縄と日本との一体化」であったのです。

今般予定されている「日本復帰 50 年」国民文化祭は、独自の沖縄文化を日本文化(天皇文化)の一つとして取り込み、沖縄の人々を文化的・精神的に支配しようとするもので、首里城再建計画によって大きな一歩を踏み出しました。これまでの「沖縄戦と天皇の戦争責任謝罪運動」や「沖縄の自己決定権と独立運動」や「辺野古新基地反対運動」など、闘い続ける沖縄の人々を統治する仕上げとして、天皇を使って本格的に乗り出してきたと言えましょう。しかも、誰でも受け入れやすいアマチュアの文化交流を用いて取り込もうとするのです。私たちは、このような企みを看過することはできません。この国家のからくりが目覚め、天皇制がもたらした沖縄の歴史と沖縄戦の事実を認識することこそ、私たちの課題にほかなりません。

## 伊勢神宮への参拝をやめてください

内閣総理大臣 菅義偉様  
立憲民主党代表 枝野幸男様

以下の理由で、あなたがたが例年行っている新年の伊勢神宮参拝に反対します。

1. 伊勢神宮は宗教法人神社本庁の「本宗」に位置付けられている宗教施設であり、公人の参拝は憲法 20 条 3 項の政教分離原則に違反します。
2. 宗教法人神社本庁はあまたのスキャンダルに満ち、明治神宮(2004年)や金刀比羅宮(2020年)など離脱する有名神社が後を絶ちません。このような多くの問題を抱える神社本庁の頂点に立つ伊勢神宮に参拝することは、モラルの上からも不適切です。
3. 神社参拝は、諸儀式と祈りからなっていますが、公人として参拝をするつもりなら、どのような祈りを捧げるのか、その内容を公開すべきです。しかし、いやしくも一国の首相あるいは公党の代表であるならば、願掛けではなく、政策によって目標を実現すべきであり、それこそがあなたがたの使命です。神社参拝によって政策実現能力の不足を補おうとするのなら、自らの無能さを露呈する以外の何ものでもありません。
4. あなたがたの伊勢神宮参拝が、アジア諸国の人々の目にどのように映るのか、想像してみてください。12月19日に退任の報告のために靖国神社を参拝した安倍晋三元首相に対して、海外メディアは即座に痛烈な批判を行いました。あなたがたの伊勢神宮参拝も、外交上、深刻な悪影響を及ぼすことが必至です。
5. 日本のキリスト教会は、1941年に教派合同を行って日本基督教団を成立させ、富田満統理が伊勢神宮にその報告を行いました。私たちはこのことを痛切に反省しており、二度とこのような過ちを犯すまいと神の前に悔い改めたものです。それゆえにあなたがたの公人としての神社参拝をも看過することができません。かつて、伊勢神宮に参拝して戦勝祈願をした結果、どのようなことが起こったのか、思い起こしていただきたいと思います。

2020年12月20日

日本キリスト教会靖国神社問題特別委員会委員長 小塩海平

### ○ 電子書籍の紹介 「高校生たちー安保闘争のなかのー」 綿谷美智子著

1960年の日米安保条約の改定に反対して闘った札幌の高校生が書いた小説。井上豊牧師(広島長束教会)が図書館の廃棄本の中から発掘して復刻しましたが、紙版の本は完売し、電子書籍に。500円。キリスト者の少女も登場し

ます。「アマゾン、電子書籍、綿谷美智子」で検索してみてください。加藤正勝牧師(滝川教会)推薦。

792号ヤスクニ通信 2021年1月10日 発行 日本キリスト教会靖国神社問題特別委員会 発行人・編集 小塩海平 発行 小塩海平(日本キリスト教会東京告白教会)
---

<編集後記> 大会靖国神社問題特別委員会は小塩海平(委員長:東京告白教会長老)、桑広国(書記:函館相生教会牧師)、井上豊(会計:広島長束教会牧師)、芳賀繁浩(渉外:豊島北教会牧師)、川越弘(沖縄伝道所牧師)の新体制でスタートしました。叱咤激励をお願いします。(K.K.)